

TECHNICAL DATA

種類	鋼構造物用水系剥離剤
製品名	キクスイ アクアリムバーエコ

第5版 作成日：2024年 3月 1日



菊水化学工業株式会社

施工仕様書

種類：鋼構造物用水系剥離剤

製品名：キクスイ アクアリムーバーエコ

用途：鋼構造物およびコンクリート構造物の塗膜剥離、鋼橋の塗装系の塗膜剥離

1. 工程表

1-1. テスト施工

剥離する塗膜の仕様(塗装系、膜厚など)を調査し、事前にテスト施工を行い、軟化の程度、剥離剤の塗付量、放置時間などを確認、決定してください。

工程	材料・調合	施工用具・条件	検討・確認項目
前処理	剥離する塗膜の仕様(塗装系、膜厚など)を調査し、旧塗膜に付着している水分、汚れを除去する。 剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム・粘着テープ等を用いて被覆養生する。 剥離箇所周辺は、剥離剤が飛散するのを防止するため、シート養生を行う。		
塗付	キクスイ アクアリムーバーエコ 主材：16kg 無希釈	エアレススプレー、 ウールローラー、はけ (秤、ウェットフィルムゲージ : 塗付量の確認)	0.5~1.5kg/m ² 塗付量は秤またはウェット フィルムゲージで確認する。 ウェットフィルムゲージ / 塗付量換算 0.5mm / 0.5kg/m ² 1.5mm / 1.5kg/m ²
軟化養生	-	場合によっては ポリエチレンフィルム を用いて湿布養生を行う	放置時間 (24~48時間)
除去	-	スクレーパー等 剥離器具・工具	剥離可能層、残存膜厚
必要であれば塗付~除去の工程を繰り返す			

1-2. 施工

工 程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	放置時間 (hr)	塗付量
前処理	旧塗膜に付着している水分、汚れを除去する。 剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム・粘着テープ等を用いて被覆養生する。 剥離箇所周辺は、剥離剤が飛散するのを防止するため、シート養生を行う。				
塗付	キクスイ アクアリムーバーエコ 主材：16kg 無希釈	エアレススプレー、 ウールローラー、はけ 等			テスト施工の結果をもとに、 塗付量、放置時間、塗回数を 決定する。
軟化養生	-	-			
除去	-	スクレーパー等 剥離器具・工具			
廃塗膜処理	剥離した塗膜は、塗膜中に含まれる有害物質の種類、量に応じて適切に廃棄する。				
洗浄	キクスイ アクアリムーバーエコ 専用クリーナー 主材：15kg 無希釈	ウエスなど 剥離後別途ブラスト、 動力工具による 素地調整を行う場合は 不要			
素地調整	-	電動工具など			当事者間の協議による
再塗装	剥離面へのごみが付着、さびなどが発生する前に再塗装を開始する。				

2. 材料荷姿

剥離剤：キクスイ アクアリムーバーエコ	NET：16kg/缶
クリーナー：キクスイ アクアリムーバーエコ専用クリーナー	NET：15kg/缶

3. 施工要領

3-1. 事前調査

- 既存塗膜の種類・構成・有害物質の有無、塗り替え回数・膜厚・劣化度合い、剥離面の形状を確認してください。
- 材料は無機系、無溶剤型、ガラスフレーク系塗料の剥離には適していません。

3-2. テスト施工

- 予め旧塗膜の剥離状態を把握するため、旧塗膜にキクスイ アクアリムーバーエコを塗付し、軟化の程度、塗付量・放置時間などを確認、決定してください。
- 塗付量は秤またはウェットフィルムゲージで確認してください。

3-3. 前処理

- 旧塗膜に付着している水分、汚れなどを除去してください。
- 剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム、粘着テープ等を用いて養生してください。
- 推奨防災シート：萩原工業（株）社製「PE防災」、「ライト防災」、
「スーパーライト防災」（材質：ポリエチレン）

3-4. 塗付

- 材料は、希釈をせずにご使用ください。
- エアレスプレー・ローラーまたは、はけなどを用い、ムラにならないよう均一に塗り付けてください。
- 放置時間が長い場合などは、塗り付け面にポリエチレンフィルムなどを貼り乾燥を防いでください。
- 接合部やボルト、リベット部は平滑部より厚膜であるため、剥離剤の厚付けが必要な場合があります。
- 剥離作業時に用いる工具が入らない部位には剥離剤を塗付しないでください。
- 降雨、降雪、結露などのおそれのある場合及び強風時は施工を避けてください。
- 施工場所の気温が5℃以下の場合は、軟化しないことがありますので、施工を避けてください。
- 湿度85%以上では施工を避けてください。

3-5. 除去

- 十分に材料が浸透し、軟化・膨潤するまで放置してください。
- 旧塗膜をスクレーパーなどで除去してください。
- 一度で除去できない場合は、材料を再度塗り付けて除去してください。
- 剥離剤による錆や黒皮の除去はできないため、ブラストや電動工具により除去してください。
- 除去した塗膜は、塗膜中に含まれる有害物質(PCB, 鉛, 六価クロム, コールタールなど)の種類、量に応じて適切に処理をしてください。

3-6. 洗浄

- キクスイ アクアリムーバーエコが残った状態で塗装を行なうと膨れなどの不具合や密着不良のおそれがあります。旧塗膜を除去した後、キクスイ アクアリムーバーエコ専用クリーナーを染み込ませたウエスなどを用いて、下地のぬめりが無くなるまで十分にふき取ってください。

○施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにしてください。

3-7. 素地調整

○素地調整の種類は当事者間（発注者、塗料メーカー、施工会社）で協議してください。

● 安全衛生

○安全管理は、関係法令を遵守し労働災害防止に努めてください。

○作業員の安全のため、剥離剤の塗付及び塗料のかき落とし作業時は、適切な保護具を着用してください。

- ・呼吸用保護具 電動ファン付呼吸用保護具（防塵・防毒）または送気マスク
- ・防護衣 日本工業規格「化学防護服 規格番号 JIS T8115:2010」
- ・作業中は換気を十分に行うとともに、呼吸用保護具のフィルター交換は適切に行ってください。
- ・特に塗付後の翌日は作業場内に揮発成分が滞留している場合があるため十分注意してください。
- ・作業中に体調の異常を感じた場合は、直ちに作業を中断して休憩をとる、または医師に診てもらうようにしてください。

○火気類との接触を避けてください。

- ・火災発生時に初期消火が行えるよう、消火器を設置してください。
- ・剥離剤の塗付及び塗料のかき落とし作業時は、着火源となる工具・機器を使用しないでください。

成分表

剥離剤：キクスイ アクアリムーバーエコ

内 容	重 量 (%)
ベンジルアルコール	65.0～75.0
水	15.0～25.0
添加剤(増粘剤等)	1.0～10.0
計	100.0

性能試験成績書

種類	鋼構造物用水系剥離剤		
製品名	キクスイ アクアリムーバーエコ		
供試材料	キクスイ アクアリムーバーエコ		
試験方法	土木鋼構造物用塗膜剥離剤ガイドライン（案）改訂第2版 塗膜剥離剤の品質		
性能	項目	基準値	結果
剥離性	剥離性	塗膜厚が概ね500 μ mの一般塗装系塗膜に対し、 1回の塗付で除去できること	合格
作業性	たれ性	垂直面に塗付し、たれないこと	合格
	塗付性	エアレス塗装機、はけ、あるいはローラーで 塗付できること	合格
安全性	生分解性	平均生分解度60%以上であること	合格 94%
	魚毒性	10 ppmより大きいこと	合格 370 ppm
	火災安全性	引火点が93 $^{\circ}$ Cより大きいこと	合格
—以下余白—			

* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。

一般的な注意事項

《環境》

- 施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられる場合、外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 施工時は換気を十分に行ってください。

《施工》

- ゴム・プラスチック類を軟化・膨潤させるため、剥離対象以外の箇所は養生してください。
- 施工面周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 施工途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、剥離剤に水分が当たらないようにしてください。
- 必ず使用前に既存塗膜の種類、膜厚、劣化状況などの事前調査を行い、剥離剤との適性を確認し、塗付量、塗回数、塗付後の放置時間などを確認、決定してください。
- 材料は希釈せず使用してください。
- テスト施工で決定した塗付量及び放置時間を守って施工してください。
- 材料を取扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

《保管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。
- 開缶時は確実に密栓し保管してください。
- 容器を転倒させる、落下させる、衝撃を与えるなど粗暴な取扱いはしないでください。
- 材料を保管する場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。

安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 適切な保護具（化学防護服、保護手袋、保護眼鏡）、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 合成樹脂などの電気絶縁性の床で材料の保管や取扱いをしないでください。

また、導電靴や帯電防止の服を着用してください。

- 開封後、やむを得ず保管する場合は密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 保管場所、取扱い場所とその周辺には、塗装中、放置中、剥離中共に、熱、火花、高温体のような発火源を遠ざけ火気厳禁としてください。特に塗装後の放置過程では蒸発面積が広がるため、引火性の高い蒸気が発生する恐れがあります。注意してください。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあります危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。
- 素地及び塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようにしてください。